

品目:トマト / 株全体の色が薄い。下位葉は葉脈間の黄化、アントシアンの発生。



品種:穂木:AS73 で特異的に発生

台木;Bバリア

発生時期:2005.10.下

原因:窒素欠乏?

(AS73では、土壤中の硝酸態窒素量が 2mg/100g 以下で障害が発生し、 10 mg/100g 以上では障害の発生が認められない。接ぎ木親和性も関係している可能性がある。)

対応策:窒素の施用。

土壤中の硝酸態窒素量が少ない(10mg/100g以下)場合には、液肥を施用し、速やかに作物体に吸収させる。

葉身の無機成分量

農家		穂木	P (%)	K (%)	Ca (%)	Mg (%)	Fe (ppm)	Zn (ppm)	Mn (ppm)
A	障害	AS73	0.312	2.31	5.87	0.566	81	9.4	96
	正常	H桃	0.268	1.95	7.04	0.452	94	12.2	76
B	障害	AS73	0.341	0.84	5.83	0.849	67	6.8	117
	正常	AS73	0.272	1.02	6.77	1.071	108	15.3	201
C	障害	AS73	0.317	2.00	6.5	0.495	63	8.0	80
	正常	AS73	0.297	2.37	6.9	0.488	100	10.3	73

(Znが障害葉で低い傾向にあるが、たいていの履歴等から考えるとZn欠乏の可能性は低いが、最近は有機物施用圃場での微量元素欠乏の事例も報告されており、また、AおよびCの障害発生圃では、pHが若干高く、微量元素が吸収されにくい状態ではある。)

土壤のpHおよび無機態窒素

農家		品種	pH	硝酸態窒素 (mg/100g)
A	障害	AS73	6.8	1.6
	正常	ハウス桃太郎	7.4	1.2
B	障害	AS73	5.6	1.1
	正常	AS73	5.5	12.1
C	障害	AS73	6.7	1.8
	正常	AS73	5.9	28.6

(土壤分析はJAによる)

品目:トマト / 下葉の葉脈間の黄化およびアントシアンの発生

品種:桃太郎ヨーク

発生時期:2002.3~6



原因:表中Aは不明
Bは Kの欠乏。

対応策:加里の葉面散布、液肥として加里を施用。

葉の無機成分量

農家		P	K (%)	Ca	Mg	Mn	Fe (ppm)	B (ppm)	Zn	Cu
A(接ぎ木)	正常	0.78	2.7	8.3	0.69	111	194	69	42	5.5
	障害	0.79	3.3	8.2	0.58	75	169	88	36	5.9
B(自根)	正常	0.46	2.2	8.4	1.35	122	129	57	65	7.0
	障害	0.65	0.4	8.3	1.66	67	135	57	26.8	6.3